

既に心機能低下がある場合

- 個別に心機能を評価した上で血圧の目標値を決定すべきとされる
- 以下の例はいずれも生命予後不良と報告されており、慢性心不全や冠血流への影響を考慮すると過度の降圧は危険であり注意を要する



高度に左室駆出率が低下している例



高度左室肥大によって拡張機能が低下した例



大動脈石灰化が高度で拡張期血圧が低下し脈圧が増大している例